

第4回 カジノ管理委員会契約監視委員会議事概要

- 1 日時 令和6年6月7日（金）15：10～15：55
- 2 場所 カジノ管理委員会12階大会議室（web会議システムを併用）
- 3 出席者 委員長 工藤 裕子 中央大学法学部教授
委員 大森 明 横浜国立大学経営学部学部長
委員 中村 豪 東京経済大学経済学部教授
- 4 議事概要
 - （1）開会（冒頭、委員の互選により、工藤委員が委員長として選任された。）
 - （2）調達案件の審議
令和5年4月1日から令和6年3月31日までの間に締結した契約のうち、委員が抽出した調達案件2件について審議が行われた。審議の概要は別紙のとおり。
 - （3）閉会

意見・質問	説明・回答
1 カジノ関連機器等の賃貸借及び保守業務並びに技術規格の解説業務	
公募に参加表明した者について、入札に参加しなかった理由を把握しているか。	公募の際には、外国の企業から機器の提供を受ける予定であったが、結果として機器の提供を受けられなかったことから応札することができなかったと聞いている。
単年度契約ではなく、複数年度契約を視野に入れて検討すべきではないか。	制度上可能かという点も含めて確認し、検討することとしたい。
本件に係る市場規模はどの程度か。	スロットマシンやそれに接続する機器を製造するメーカーという前提であるが、国内では数社であり、国外では大手といわれるところで二桁社程度の規模感であると認識している。
2 令和5年度 カジノゲームへの依存に関する文献調査委託業務	
昨年度の類似案件の議論を踏まえ、今後何か工夫するのか。	仕様書の受注者要件について、医療機関や業務の経験年数といった要件を撤廃する等、受注要件の緩和等を行っている。なお、広告勧誘に関する文献調査では、調査に関連する学会のホームページを通じて公募を周知する準備を進めているところである。
研究者がチームを組んで受注するという仕組み等について検討すべきではないか。	チームで構成した代表機関が受注要件を満たしていれば参加は可能である。契約監視委員会の議論を踏まえ、引き続き何ができるのか検討してまいりたい。
金額に対してふさわしい成果物であったのか。	文献調査に加え、海外の最新動向等、関連する調査を踏まえて適切に作成されており、金額に対して妥当な成果物であったと認識している。